



平成19年1月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成18年6月5日

上場会社名 **ピジョン株式会社**

(コード番号: 7956 東証第1部)

(URL <http://www.pigeon.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松村 誠一
責任者役職・氏名 執行役員経営企画本部 IR・広報室担当 大藪 克実

TEL (03) 3661 - 4188

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年1月期第1四半期の財務・業績状況 (平成18年2月1日 ~ 平成18年4月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年1月期第1四半期	10,718	6.2	667	16.6	650	17.9
18年1月期第1四半期	10,094	8.7	573	21.7	552	15.0
(参考) 18年1月期	41,747		2,215		2,200	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年1月期第1四半期	246	26.8	12	48	-	-
18年1月期第1四半期	336	0.1	16	86	16	85
(参考) 18年1月期	1,342		67	84	67	83

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19年1月期第1四半期	35,394	20,433	57.7	1,035 53
18年1月期第1四半期	35,260	19,193	54.4	972 66
(参考) 18年1月期	33,937	20,312	59.9	1,029 41

(3) 連結キャッシュ・フローの状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年1月期第1四半期	71	352	349	1,983
18年1月期第1四半期	247	297	256	2,492
(参考) 18年1月期	1,765	1,668	1,018	1,903

3. 平成19年1月期の連結業績予想 (平成18年2月1日 ~ 平成19年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	21,800	1,100	750
通期	44,500	2,600	1,650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 83円61銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的状況等〕

当第1四半期（平成18年2月1日～平成18年4月30日の3ヶ月間）は「21C第二次中期経営計画」（平成18年1月期～平成20年1月期）「企業価値の創造21（グローバル500）」の2年目として、コア事業である育児事業は独自性のある新商品の発売と他社との競争優位性の強化、成長分野である子育て支援事業、海外事業、ヘルスケア事業は積極的な事業展開を行い、グループのシナジーと結束力を発揮し、企業価値の最大化に努めてまいりました。また、急激な社会環境の変化に対応し、成長性の高い新たな販売チャネルを確保する目的で、2月よりマタニティ用品1,000アイテム以上を品揃えするIT通販事業の「ピジョンモール」を開設し、4月からは「ピジョンモール」限定販売商品としてオリジナルベビーカー『ピディア』の取扱いを開始いたしました。

以上の結果、売上高は国内育児用品事業の施策が順調に進んだことと、海外事業と子育て支援事業の業績も順調に推移したことから、107億18百万円（前年同期比6.2%増）となりました。また、利益面におきましてもテレビへの番組提供等で販売費及び一般管理費が前年同期比で4.8%増加したものの、売上原価率が前年同期比で0.2ポイント低下したことにより、営業利益は6億67百万円（前年同期比16.6%増）、経常利益6億50百万円（前年同期比17.9%増）、第1四半期純利益は2億46万円（前年同期比26.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントは「育児」、「ヘルスケア」、「その他」の3事業で概況は以下のとおりです。

「育児」

同事業に関して、国内育児用品事業、子育て支援事業、海外事業に区分した概況は以下のとおりです。

国内育児用品事業

国内育児用品事業においては、当期の課題であります「おしりナップ」のシェア挽回のため、新たに「おしりナップ（ふきごち、さっぱり）」を発売し、前期発売いたしました「おしりナップ（ミルク&ふっくら）」とともに商品ラインナップを充実させ、積極的な営業活動を実施いたしました。同時に販売促進活動としてはベビー雑誌中心の広告宣伝に加え、テレビへの番組提供を行うことによって子どもを生み育てる感動と喜びを伝えてまいりました。また、販売店店頭でのマーチャндаイジングおよびマタニティイベントの実施、病産院への普及活動等、ピジョンブランドを生活者にアピールするさまざまな施策を実施いたしました。

子育て支援事業

子育て支援事業においては、4月より「中野区立打越保育園」の運営受託を開始し、また、事業所内保育園においてはトヨタ自動車株式会社の3園目となる「ぶつぶパーク」の運営受託を3月より開始するなど業界での競争優位性を発揮し、順調に業容を拡大いたしました。

海外事業

海外事業においては、中近東、南北アメリカ、ヨーロッパを中心に順調に業績を伸ばしております。中国は地方都市への市場拡大が順調に進み、すでに全国 30 以上の市および省に販売エリアが拡大し、当期も販売促進活動や積極的な営業活動を展開して、ピジョンブランドの浸透と売上拡大に努めました。

「ヘルスケア」

同事業においては、当社と連結子会社多比良株式会社（5月1日よりピジョンタヒラ株式会社に社名変更）さらには栃木県下で在宅介護支援サービスを事業展開している連結子会社ピジョン真中株式会社とのシナジーを一層発揮させる営業活動を行い、ヘルスケア事業全体の売上拡大を図ってまいりました。

「その他」

同事業においては、マタニティ向けインナーウェアを販売する連結子会社ピジョンウィル株式会社は春夏物の新商品を中心に販売活動を行い、また、サプリメントは妊娠中でも安心して飲める葉酸プラスを中心として前期より引き続き順調に販売実績を伸ばしました。

〔財務状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期末の総資産は、353億94百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金等が増加したことにより168億35百万円となりました。また、固定資産は、185億59百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して借入金等の増加により145億17百万円となりました。また、株主資本は204億33百万円となり、この結果、株主資本比率は57.7%となりました。

（連結キャッシュ・フロー）

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前第1四半期純利益の増加等により71百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により3億52百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入等により3億49百万円の増加となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、期首残高に比べ80百万円増加し、19億83百万円となりました。

第1四半期連結(要約)貸借対照表

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第1四半期		当第1四半期		前連結会計年度	
	(平成17年4月30日現在)		(平成18年4月30日現在)		(平成18年1月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	16,604,066	47.1	16,835,213	47.6	15,260,057	45.0
固定資産	18,656,443	52.9	18,559,107	52.4	18,677,687	55.0
1.有形固定資産	13,289,455		13,298,316		13,358,127	
2.無形固定資産	3,240,366		2,897,345		3,035,393	
3.投資その他の資産	2,126,622		2,363,445		2,284,166	
資産合計	35,260,510	100.0	35,394,320	100.0	33,937,744	100.0
(負債の部)						
流動負債	13,798,134	39.1	11,953,798	33.8	11,574,770	34.1
固定負債	1,887,625	5.4	2,563,834	7.2	1,606,485	4.7
負債合計	15,685,760	44.5	14,517,633	41.0	13,181,255	38.8
(少数株主持分)						
少数株主持分	381,224	1.1	443,278	1.3	443,656	1.3
(資本の部)						
資本合計	19,193,525	54.4	20,433,407	57.7	20,312,833	59.9
負債、少数株主持分 及び資本合計	35,260,510	100.0	35,394,320	100.0	33,937,744	100.0

第1四半期連結(要約)損益計算書

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第1四半期		当第1四半期		前連結会計年度	
	(自平成17年2月1日 至平成17年4月30日)		(自平成18年2月1日 至平成18年4月30日)		(自平成17年2月1日 至平成18年1月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売上高	10,094,609	100.0	10,718,937	100.0	41,747,212	100.0
売上原価	6,253,960	62.0	6,625,670	61.8	26,112,355	62.5
売上総利益	3,840,648	38.0	4,093,266	38.2	15,634,856	37.5
販売費及び一般管理費	3,267,632	32.3	3,425,289	32.0	13,419,853	32.2
営業利益	573,016	5.7	667,977	6.2	2,215,002	5.3
営業外収益	70,395	0.7	73,228	0.7	364,344	0.9
営業外費用	91,402	0.9	90,229	0.8	378,870	0.9
経常利益	552,010	5.5	650,976	6.1	2,200,476	5.3
特別利益	50,230	0.5	1,612	0.0	56,593	0.1
特別損失	4,300	0.1	152,764	1.4	72,912	0.2
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	597,939	5.9	499,824	4.7	2,184,156	5.2
法人税、住民税及び事業税	201,660	2.0	238,454	2.2	682,451	1.6
法人税等調整額	40,834	0.4	5,309	0.0	92,942	0.2
少数株主利益	18,723	0.2	20,268	0.2	66,183	0.2
第1四半期(当期)純利益	336,720	3.3	246,411	2.3	1,342,579	3.2

第1四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(注)千円未満切捨て

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
		(自平成17年2月1日 至平成17年4月30日)	(自平成18年2月1日 至平成18年4月30日)	(自平成17年2月1日 至平成18年1月31日)
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		247,982	71,655	1,765,419
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		297,185	352,182	1,668,535
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		256,135	349,286	1,018,487
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		13,436	11,320	56,673
・ 現金及び現金同等物の増減額		275,596	80,080	864,930
・ 現金及び現金同等物の期首残高		2,768,291	1,903,361	2,768,291
・ 現金及び現金同等物の第1四半期(当期)末残高		2,492,695	1,983,441	1,903,361